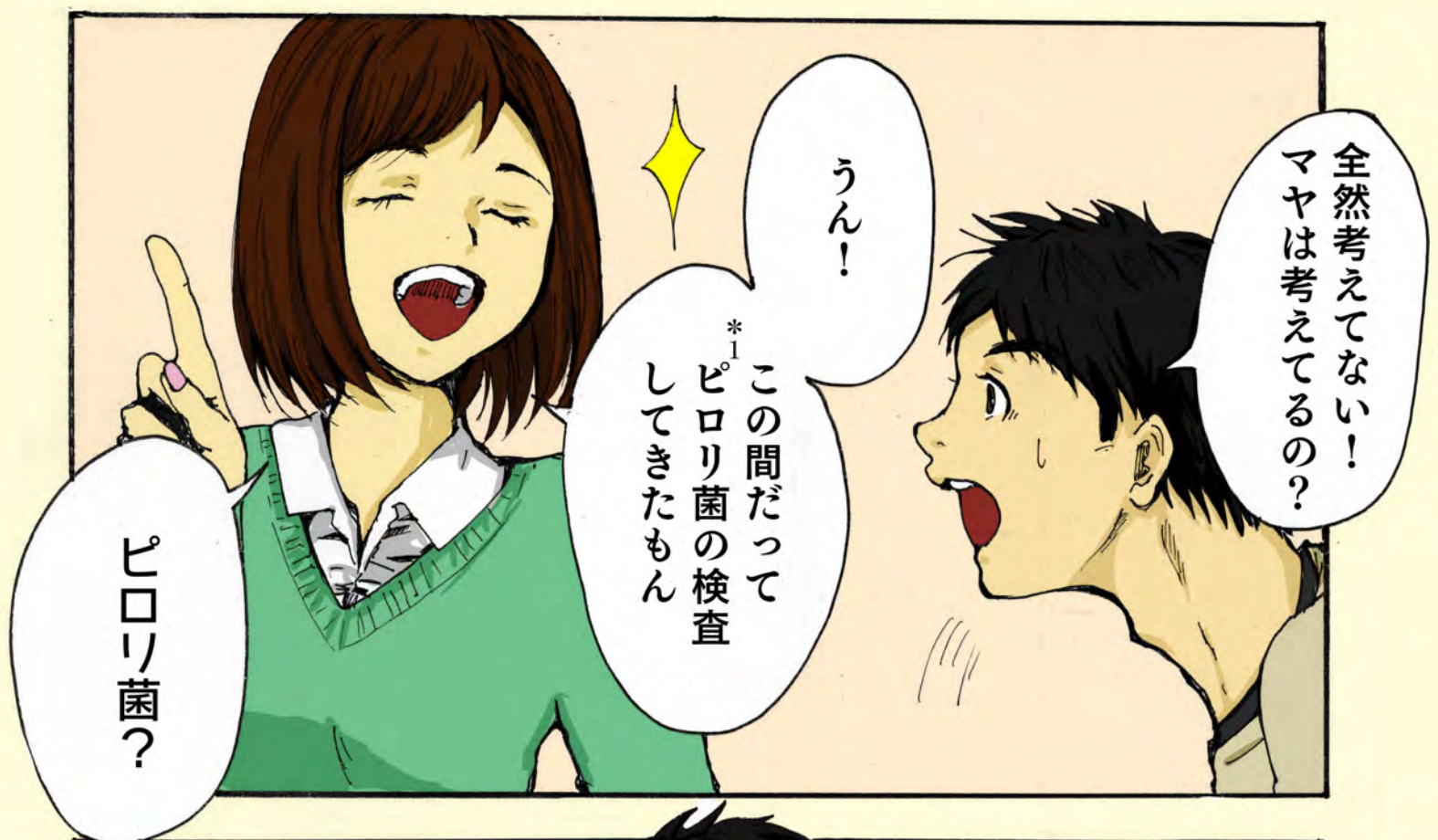


検査の手引き (新入生の皆さまへ)

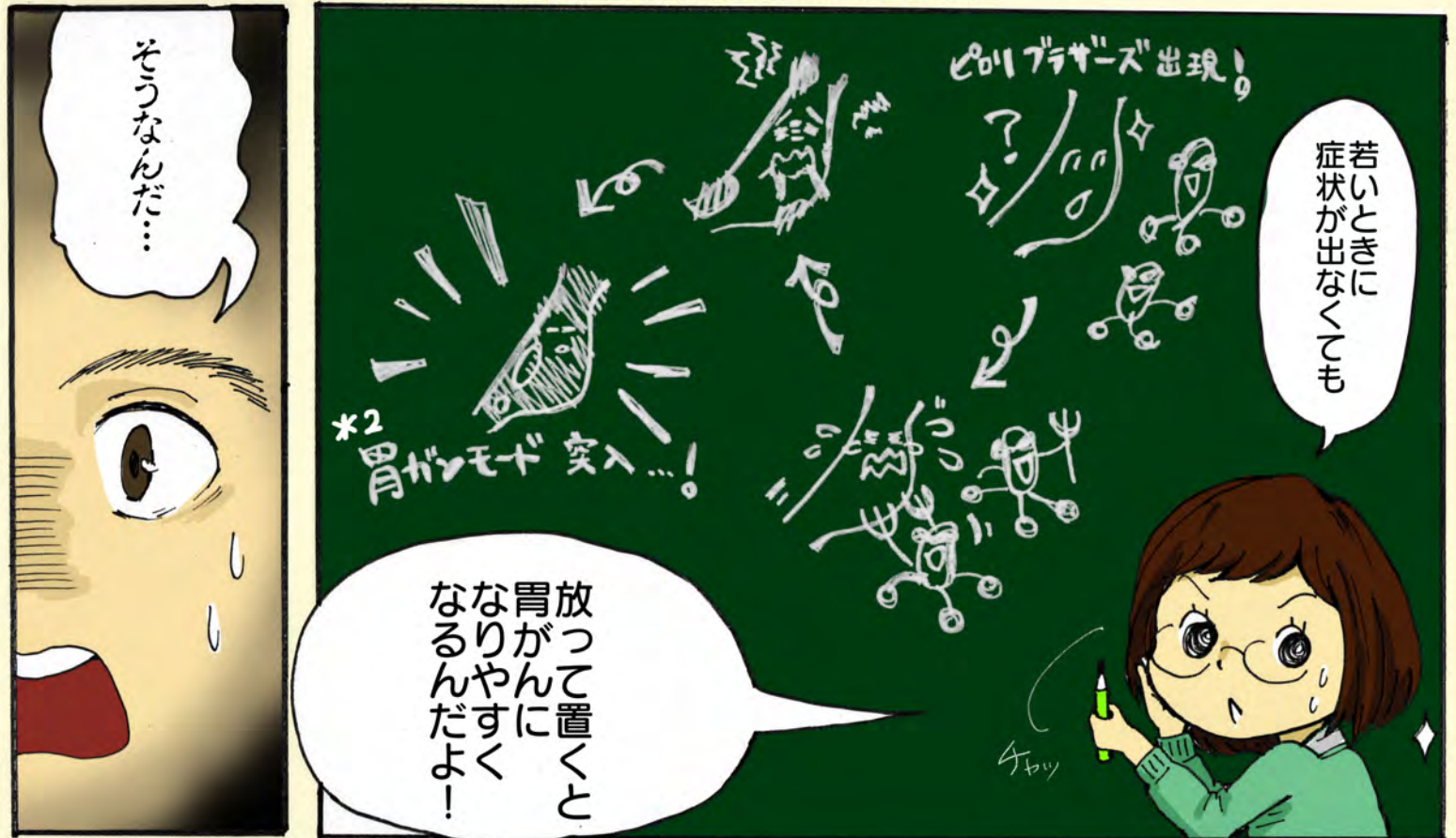
ピロリ菌検査に行こう！

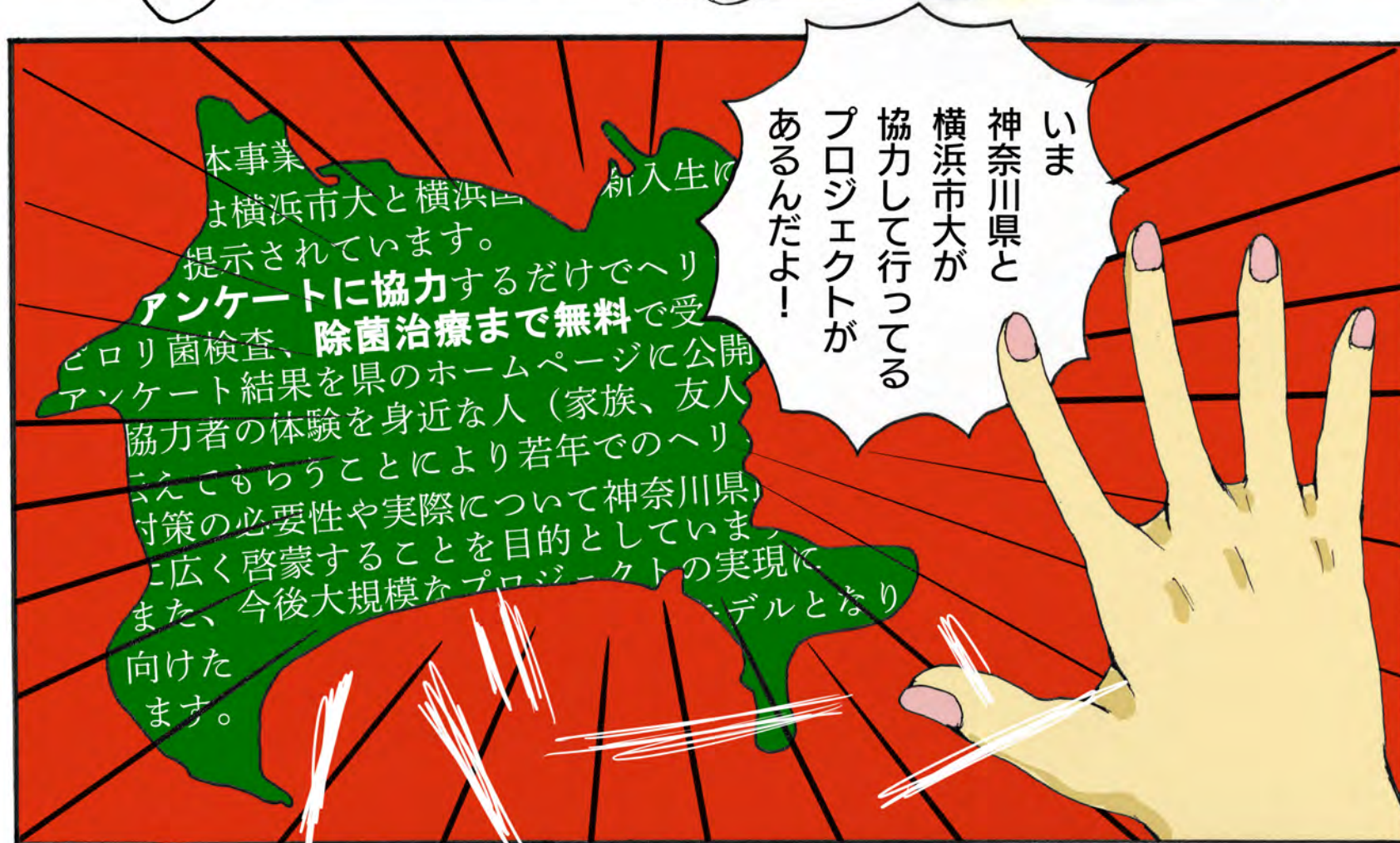
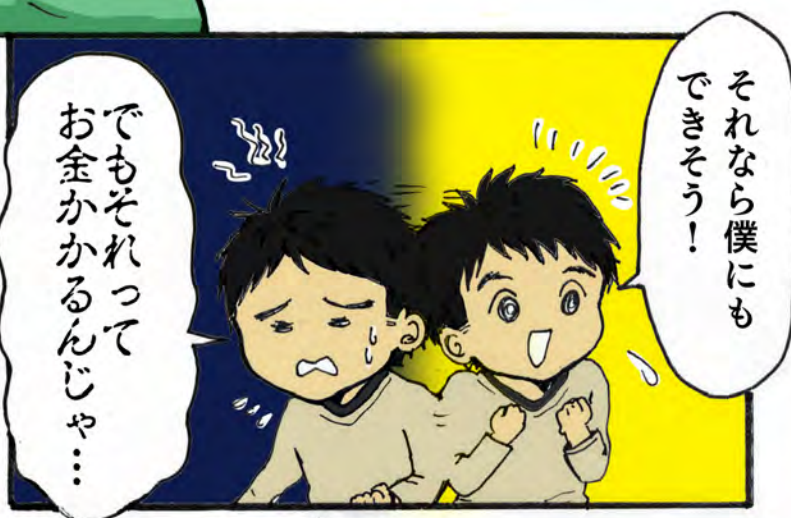
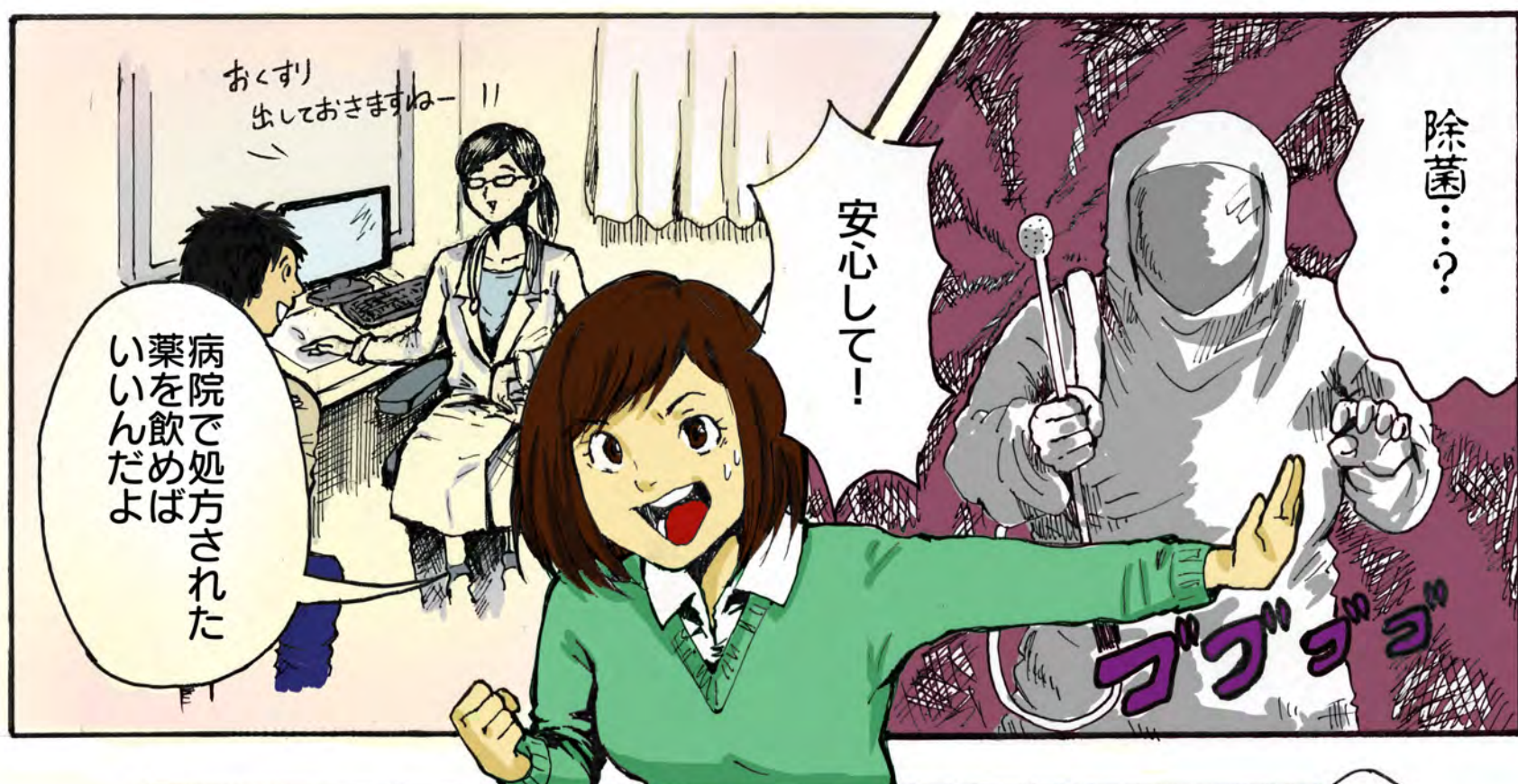


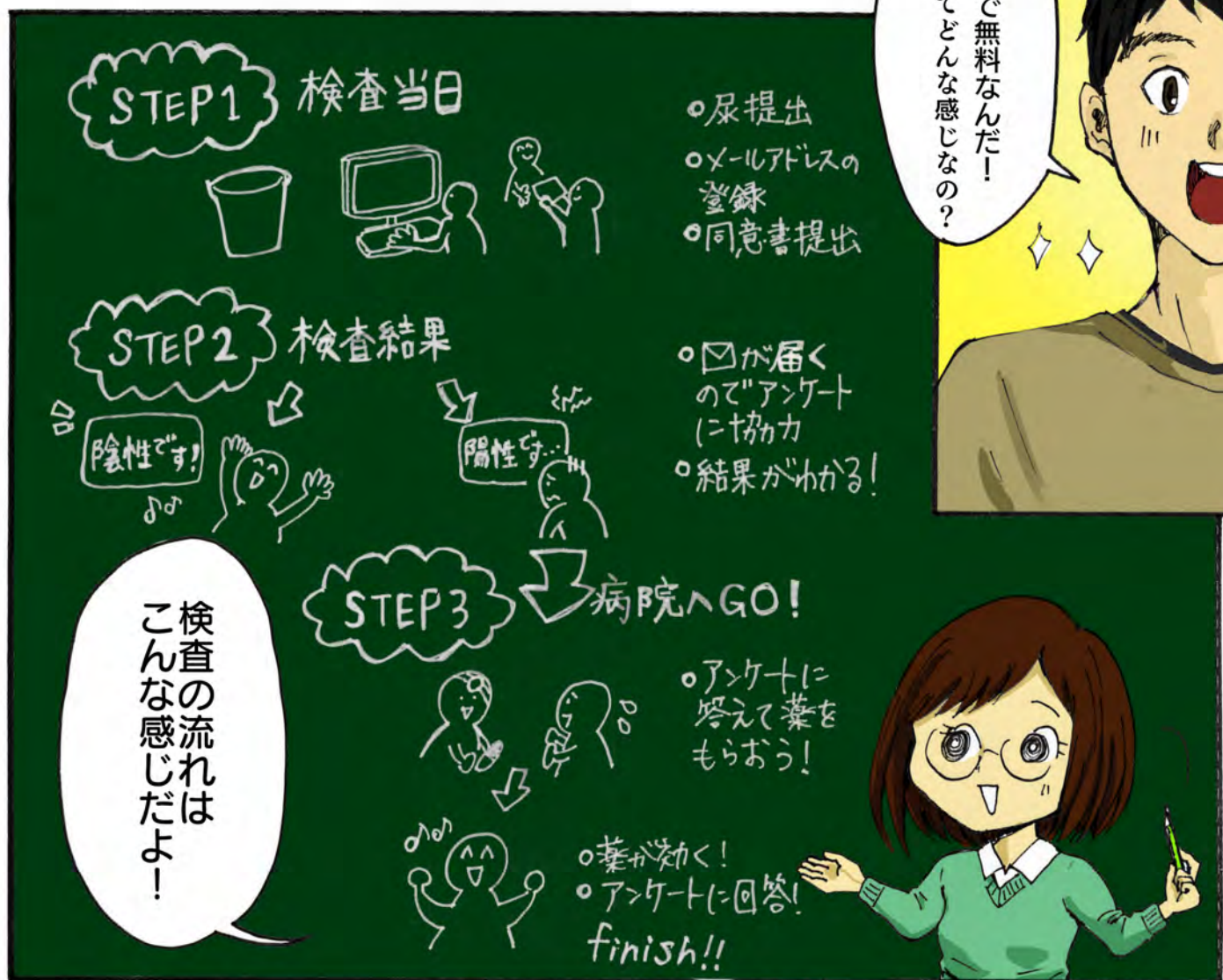


*1 ピロリ菌：ヘリコバクター・ピロリ菌という細菌の一種。感染すると人の胃の中に生息し、除菌しない限り住み続けると言われている。

*2 ピロリ菌の持続感染は胃炎や胃潰瘍の原因になるだけでなく、
胃がんになるリスクが高まると言われています。







○ピロリ菌について

Q1 ピロリ菌って何ですか？

正式にはヘリコバクター・ピロリ菌と呼ばれる、細菌の一種で、胃に感染します。感染してもほとんどの人が自覚症状はありませんが、除菌をしない限り胃の中に住み続けると言われています。

Q2 どうやって感染するの？

どのように感染するのかはまだ十分わかっていませんが、口から感染すると考えられています。戦中、戦後などの衛生環境が不十分であった際に水を飲んで感染する場合がありますが、近年では5歳までの乳幼児期に、ピロリ菌に感染している親などから口口(くちくち)感染していると考えられます。

Q3 ピロリ菌は危ないのですか？

危ないです。ピロリ菌は胃炎を引き起こすほか、胃がんをはじめとした様々な病気の原因になると言われています。

Q4 胃がん以外に、どのような病気のリスクがあるのでしょうか？

胃十二指腸潰瘍が有名です。他にはリンパ腫の一部などがあります。

Q5 ピロリ菌は健康な人にもいる常在菌ではないんですか？

常在菌というのは健康な人に存在して悪さをしない菌です。ピロリ菌は胃炎を引き起こすほか、さまざまな病気の原因となるため、常在菌とはいえません。

Q6 若い人でピロリ菌にかかっている人はどれくらいいるのでしょうか？

5～10%程度と考えられています。

Q7 ピロリ菌にかかっている割合には男女差がありますか？

男女による差はなく、男性でも女性でもかかる可能性があります。

○検査や除菌について

Q8 検査や除菌はどうやってするのでしょうか？

本事業では、健康診断でとる尿を使ってピロリ菌に感染しているかどうか検査します。陽性者は、もう一度検便をして、間違いなくピロリ菌に感染していることを確認した後、除菌に関する説明を受けてから除菌を行います。除菌は、抗生剤と胃酸を抑える薬を1週間内服することで行います。

Q9 検査はどれくらいの時間がかかりますか？

検査に使用する尿は健康診断の際にとったものを使いますが、健康診断当日に説明を受けていただき、同意文書や連絡先のメールアドレス等を記載していただくため、10分ほど時間がかかります。また、陽性となった方には、結果の説明を受けた後、除菌を行う前に便検査を用いた確認の検査が必要となります。

Q10 検査結果はいつ頃分かりますか？

尿検査の結果は4月末頃にメールにてお知らせします。検便の結果は便の提出から1週間後以降でご説明します。

Q11 除菌にはどのくらいの時間がかかりますか？また、薬を飲めば必ず除菌できるのでしょうか？

除菌治療にあたって薬を服用するのは1週間です。9割の方は除菌に成功すると言われています。薬を服用してから2カ月後に、除菌が成功したかどうかを再度検査して判定します。

Q12 1週間薬を飲んでも除菌できなかった場合は、どうしたらよいのでしょうか？

本事業での除菌は、1回目のみです。2回目以降は、各自のご判断で医療機関を受診してください。

Q13 検査、除菌は痛いですか？

検査は尿や便を提出するだけであり、治療は薬を飲むだけですので、痛みはありません。

Q14 除菌の副作用・危険性がありますか？

除菌治療をした方のうち、薬剤アレルギーによる副作用は約3%と低い値です。除菌をした方の中で、まれに逆流性食道炎にかかる場合があります。

Q15 除菌したらどのくらい体にいいのでしょうか？

将来胃癌や胃十二指腸潰瘍などになるリスクが減ると言われています。

Q16 症状がないのに陽性でした。どういうことですか？ すぐに何かしないと病気になりますか？

すぐに病気になるわけではありません。若年では病気になる確率は低く、がん検診を受ける50代頃までに、段々と病気になる確率が上がります。若いうちに除菌するほど、将来胃がん等になるリスクを減らせると言われています。

Q17 ピロリ菌は5歳以下で感染するのになんでその時に除菌せず、大学生で行うのでしょうか？

私たちは5歳ごろまでは免疫のシステムが未熟で、もしこの時期に除菌をしてもまた感染してしまう可能性が高いとされているためです。

Q18 ピロリ菌は一度除菌してもまた再発することがありますか？

成人では一過性の感染にとどまることが多く、基本的に継続的な再感染はしません。

Q19 除菌すると将来子供にうつしてしまう危険性が減るということですか？

減ると考えられます。

○今回の調査について

Q20 個人情報保護は保われますか？

研究協力者の方からいただいた個人情報に関しては、厳重に管理し、流出しないための最大限のリスク管理^{*}の下行います。結果の通知は本人のみに行われ、破棄^{**}に関して厳重な管理の下行われます。

* リスクは個人を特定できる情報（メールアドレスなど）と検査結果を同時に含むファイルを作成しないこと、結果の通知はプログラムにより行われること、データの暗号化を行うことにより管理されます。

** 破棄に関して文書はシュレッダーを用いて、データは完全削除します。文書及びデータは研究終了後5年間又は本研究の結果の最終の公表を行った日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管した後破棄します。

Q21 なぜ大学生を対象として行うのですか？

除菌による胃がん抑制効果は若年ほど高いと考えられているからです。

Q22 自分が対象になったことで、親も興味を持っています。病院の何科で調べてくれるのでしょうか？

ピロリ菌除菌を行っている内科で調べてくれます。ピロリ菌感染症認定医が確実です。

Q23 自費で検査と除菌をする場合、それぞれいくらかりますか？

自費診療の場合は病院によって異なります。詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

Q24 公費でやる意味は何ですか？

ピロリ菌が胃がんの原因になるということが、まだ十分に認知されていないことから、ピロリ菌と胃がんの関係の理解促進・啓発のために、今回モデル事業として行うものです。

検査の手引き(横浜国大・横浜市大新入生の皆様へ)

2018年4月1日発行

編集 横浜市大

須江聡一郎

山下啓和

前田愼

前田憲人

横浜市大

漫画研究部

今井明日香

宮原七々夏

神奈川県大学発政策提案制度採択事業

「神奈川県若年者におけるヘリコバクター
ピロリ感染症対策のモデル事業」にて発行